

祭司の聖別

レビ記八章

あなたがたの任職式の期間が明けるまでの七日間、会見の幕屋の入り口から外に出てはならない。七日間かけて任職式が行われるからである。(33)

モーセがアロンとその子らを聖別して祭司の職に就かせる任職式の様子が記されています。祭司は神と民との間をとりなす仲保者としての働きを担いますが、その務めにつくために、まず自ら十分に聖別されなければなりません。まず自分たちが神に聖別されることによって、民の罪を贖い、聖別する務めにつくことができるのでした。私たちキリスト者は、この世にあつて祭司としての務めが与えられています。マルチン・ルターが「万人祭司」という言葉を用いたように、全てのキリスト者は、まだ神を知らない人々を神と和解させるための祭司としての働きが与えられています。この祭司としての働きを全うするために、一日の始めに神の前に静まり、一週間の始めに礼拝をもってスタートしたいものです。世の人々の救いは、私たちの聖別にかかっているからです。